

1. 課題 1

1.1. 課題 1-1

a. ソースコード

kadail_1.php

```
1 <?php
2     header('Content-type:text/html;charset=UTF-8');
3     ?>
4     <html>
5     <body>
6         <?php
7
8             echo '2001 年~2400 年までのうるう年を以下に表示します。<br>';
9             for($i = 2001; $i <= 2400; $i++){
10                 if( $i % 4 == 0 && !($i % 100 == 0 && $i % 400 != 0))
11                     echo $i, ' ';
12             }
13
14         ?>
15     </body>
16 </html>
```

b. 実行結果のスクリーンショット

```
2001 年~2400 年までのうるう年を以下に表示します。
2004 2008 2012 2016 2020 2024 2028 2032 2036 2040 2044 2048 2052 2056 2060 2064
2068 2072 2076 2080 2084 2088 2092 2096 2104 2108 2112 2116 2120 2124 2128 2132
2136 2140 2144 2148 2152 2156 2160 2164 2168 2172 2176 2180 2184 2188 2192 2196
2204 2208 2212 2216 2220 2224 2228 2232 2236 2240 2244 2248 2252 2256 2260 2264
2268 2272 2276 2280 2284 2288 2292 2296 2304 2308 2312 2316 2320 2324 2328 2332
2336 2340 2344 2348 2352 2356 2360 2364 2368 2372 2376 2380 2384 2388 2392 2396
2400
```

c. ソースコードの重要箇所の説明

9 行目~12 行目の for 文により 2001 年~2400 年までのうるう年の計算を 400 回繰り返しの処理をしている。中の 10 行目の if 文よりうるう年の条件でうるう年かどうかを判断する。

1.2. 課題 1-2

a. ソースコード

kadail_2.html

```
1 <html>
2   <head>
3     <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=UTF-8">
4   </head>
5   <body>
6
7     <form method="post" action="kadail_2.php">
8       年を入力してください<input type="text" name="year">
9       <input type="submit" value="送信">
10    </form>
11  </body>
12</html>
```

kadail_2.php

```
1 <?php
2   header('Content-type:text/html; charset=UTF-8');
3   ?>
4 <html>
5   <body>
6     <?php
7
8       $check = $_POST['year'];
9       $check = htmlspecialchars($check, ENT_QUOTES, 'UTF-8');
10      echo 'あなたが入力した', $check, '年は, ', PHP_EOL;
11      if( $check % 4 == 0 && !($check % 100 == 0 && $check % 400 != 0))
12        echo 'うるう年です。<br>', PHP_EOL;
13      else
14        echo 'うるう年ではありません(平年です)。<br>', PHP_EOL;
15      ?>
16   </body>
17</html>
```

b. 実行結果のスクリーンショット

年を入力してください

あなたが入力した2015年は、うるう年ではありません(平年です)。

年を入力してください

あなたが入力した2004年は、うるう年です。

c. ソースコードの重要箇所の説明

kadail_2.html の 7 行目から 10 行目では、POST メソッドを使って、画面の入力部品を作る。kadail_2.php の 8 行目と 9 行目では、ユーザが入力した年が \$check になる。そして 11 行目でうるう年かどうかを判定する。

2. 課題 2

2.1. 課題 2-1

a. ソースコード

kadai2_1.php

```
1 <?php
2     header('Content-type:text/html;charset=UTF-8');
3     ?>
4     <html>
5     <body>
6     <?php
7
8         $name = array('佐藤','鈴木','高橋','田中','伊藤');
9         $grand = array('佐藤'=>'男性','鈴木'=>'女性','高橋'=>'女性','田中'=>'男性','伊藤'=>'男性');
10        $old = array('佐藤'=>30,'鈴木'=>20,'高橋'=>17,'田中'=>75,'伊藤'=>51);
11        $high = array('佐藤'=>175,'鈴木'=>155,'高橋'=>160,'田中'=>163,'伊藤'=>170);
12        $weight = array('佐藤'=>68,'鈴木'=>49,'高橋'=>52,'田中'=>62,'伊藤'=>70);
13
14        echo '人物5人のパーソナルデータを以下に表示します。<br>';
15        echo '名前 性別 年齢 身長 体重<br>';
16        foreach($name as $value){
17            echo $value,' ', $grand[$value], ' ', $old[$value], ' ', $high[$value], ' ', $weight[$value], '<br>';
18        }
19
20        ?>
21    </body>
22 </html>
```

b. 実行結果のスクリーンショット

```
人物5人のパーソナルデータを以下に表示します。
名前 性別 年齢 身長 体重
佐藤 男性 30, 175, 68
鈴木 女性 20, 155, 49
高橋 女性 17, 160, 52
田中 男性 75, 163, 62
伊藤 男性 51, 170, 70
```

c. ソースコードの重要箇所の説明

8 行目から 12 行目では、5 つの配列を使って、名前、性別、年齢、身長、体重のデータを入れる。データを扱いやすくするために連想配列を使って、キーに名前、要素に性別、年齢、身長、体重を入れている。また、16 行目から 18 行目では、foreach 文を使うことで、連想配列の中身を順番に処理しています。

<サーバサイド Web プログラミング初級 01>
レポート

<1W19C952-5>
<チェン ナイシン>

2.2. 課題 2-2

a. ソースコード

kadai2_2.html

```
1 <html>
2   <head>
3     <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=UTF-8">
4   </head>
5   <body>
6
7     <form method="post" action="kadai2_2.php">
8       男性・女性<input type="text" name="grand"><br>
9       年齢<input type="text" name="old[]d">歳以上<br>
10      年齢<input type="text" name="old[]">歳以下<br>
11      身長<input type="text" name="high[]">CM以上<br>
12      身長<input type="text" name="high[]">CM以下<br>
13      体重<input type="text" name="weight[]">KG以上<br>
14      体重<input type="text" name="weight[]">KG以下<br>
15      <input type="submit" value="送信">
16    </form>
17  </body>
18 </html>
```

kadai2_2.php

```
1 <?php
2   header('Content-type:text/html; charset=UTF-8');
3   ?>
4   <html>
5     <body>
6       <?php
7
8         $name = array('佐藤','鈴木','高橋','田中','伊藤');
9         $grand = array('佐藤'=>'男性','鈴木'=>'女性','高橋'=>'女性','田中'=>'男性','伊藤'=>'男性');
10        $old = array('佐藤'=>30,'鈴木'=>20,'高橋'=>17,'田中'=>75,'伊藤'=>51);
11        $high = array('佐藤'=>175,'鈴木'=>155,'高橋'=>160,'田中'=>163,'伊藤'=>170);
12        $weight = array('佐藤'=>68,'鈴木'=>49,'高橋'=>52,'田中'=>62,'伊藤'=>70);
13
14
15        $G = $_POST['grand'];
16        $OS = $_POST['old'][0];
17        $OB = $_POST['old'][1];
18        $HS = $_POST['high'][0];
19        $HB = $_POST['high'][1];
20        $WS = $_POST['weight'][0];
21        $WB = $_POST['weight'][1];
22
23
24        $G = htmlspecialchars($G, ENT_QUOTES, 'UTF-8');
25        $OS = htmlspecialchars($OS, ENT_QUOTES, 'UTF-8');
26        $OB = htmlspecialchars($OB, ENT_QUOTES, 'UTF-8');
27        $HS = htmlspecialchars($HS, ENT_QUOTES, 'UTF-8');
28        $HB = htmlspecialchars($HB, ENT_QUOTES, 'UTF-8');
29        $WS = htmlspecialchars($WS, ENT_QUOTES, 'UTF-8');
30        $WB = htmlspecialchars($WB, ENT_QUOTES, 'UTF-8');
31
32        echo '選択した条件を満たす人物を以下に表示します。<br>';
33
34
35        foreach($name as $value){
36          if( $grand[$value]==$G && $old[$value]>=$OS && $old[$value]<=$OB && $high[$value]>=$HS &&
37            $high[$value]<=$HB && $weight[$value]>=$WS && $weight[$value]<=$WB )
38            echo $value, ' ', $grand[$value], ' ', $old[$value], ' ', $high[$value], ' ', $weight[$value], '<br>';
39          }
40
41        ?>
42      </body>
43    </html>
```

b. 実行結果のスクリーンショット

男性・女性	<input type="text" value="男性"/>	
年齢	<input type="text" value="30"/>	歳以上
年齢	<input type="text" value="70"/>	歳以下
身長	<input type="text" value="150"/>	CM以上
身長	<input type="text" value="180"/>	CM以下
体重	<input type="text" value="60"/>	KG以上
体重	<input type="text" value="80"/>	KG以下
<input type="button" value="送信"/>		

選択した条件を満たす人物を以下に表示します。
佐藤 男性 30, 175, 68
伊藤 男性 51, 170, 70

男性・女性	<input type="text" value="女性"/>	
年齢	<input type="text" value="10"/>	歳以上
年齢	<input type="text" value="30"/>	歳以下
身長	<input type="text" value="140"/>	CM以上
身長	<input type="text" value="158"/>	CM以下
体重	<input type="text" value="40"/>	KG以上
体重	<input type="text" value="60"/>	KG以下
<input type="button" value="送信"/>		

選択した条件を満たす人物を以下に表示します。
鈴木 女性 20, 155, 49

c. ソースコードの重要箇所の説明

kadai2_2.html の 7 行目から 15 行目では、POST メソッドを使って、画面の入力部品を作る。条件を入力できる。

kadai2_2.php の 8 行目から 12 行目では、データを扱いやすくするために連想配列を使って、キーに名前、要素にデータを入れている。15 行目から 30 行目では、ユーザが入力したデータである。また、35 行目か 39 行目では、foreach 文を使うことで、連想配列の中身を順番に処理している。中の 36 行目と 37 行目の if 文でユーザが入力した条件によって、合致する人物を判断する。

<1 W 1 9 C 9 5 2-5 >
<チェン ナイシン>

3.1. 課題 3

kadai3.html

kandai3.php

```

1  k?php
2      header('Content-type:text/html;charset=UTF-8');
3
4  >>
5  <html>
6      <body>
7          <?php
8              $menyu=array('チョコレートシューケーキ'=>600,
9                          'ストロベリーシューケーキ'=>800,
10                         'グリーンティーシューケーキ'=>700,
11                         'ガトーショコラ'=>650,
12                         '抹茶シフォン'=>750,
13                         'チーズケーキ'=>700,
14                         'ホットケーキ'=>400);
15
16              $F = $_POST['food'];
17              $P = $_POST['place'];
18              $P = htmlspecialchars($F, ENT_QUOTES,'UTF-8');
19              $P = htmlspecialchars($P, ENT_QUOTES,'UTF-8');
20
21              $Food = explode(",", $F); //組込み関数
22
23              function money($ff,$mm,$pp){
24                  $money = 0;
25                  foreach($ff as $value){
26                      $money+=$mm[$value];
27                  }
28                  if($pp == 'テイクアウト')
29                      $money=$money*1.08;
30                  else
31                      $money=$money*1.1;
32
33                  return $money;
34              } //ユーザ定義関数
35
36              function out($ff,$mm,$pp){
37
38                  echo '注文履歴: <br>';
39                  foreach($ff as $value){
40                      echo $value, ' ', $mm[$value], '円<br>';
41                  }
42                  if($pp == 'テイクアウト')
43                      echo 'テイクアウト: 消費税は 8 % です.<br>';
44                  else
45                      echo '店内: 消費税は 1 0 % です.<br>';
46
47              }
48
49              out($Food,$menyu,$P);
50              echo '<br><br>合計/','count($Food),'点 ',money($Food,$menyu,$P),'円です.<br>';
51
52  >>
53  </body>
54  </html>

```

<サーバサイド Web プログラミング初級 01>
レポート

<1W19C952-5>
<チェン ナイシン>

b. 実行結果のスクリーンショット

*メニュー

チョコレートシューケーキ	600円
ストロベリーシューケー	800円
グリーンティーシューケー	700円
ガトーショコラ	650円
抹茶シフォン	750円
チーズケーキ	700円
ホットケーキ	460円

* 本メニューの価格表示は全て"税抜き表示"です。

*食べたいもの: トーショコラ,ホットケーキ

入力例:

- 1、チーズケーキ1つ: 「チーズケーキ」
- 2、チーズケーキ1つ、ホットケーキ1つ: 「チーズケーキ,ホットケーキ」
- 3、チーズケーキ2つ、ホットケーキ1つ: 「チーズケーキ,チーズケーキ,ホットケーキ」

(必ず「,」で分けてください)

*店内 / テイクアウト: 店内

注文する

注文履歴:

ガトーショコラ 650円

ホットケーキ 460円

店内: 消費税は10%です。

合計/2点 1221円です。

*メニュー

チョコレートシューケーキ	600円
ストロベリーシューケー	800円
グリーンティーシューケー	700円
ガトーショコラ	650円
抹茶シフォン	750円
チーズケーキ	700円
ホットケーキ	460円

* 本メニューの価格表示は全て"税抜き表示"です。

*食べたいもの: 抹茶シフォン,チーズケーキ,

入力例:

- 1、チーズケーキ1つ: 「チーズケーキ」
- 2、チーズケーキ1つ、ホットケーキ1つ: 「チーズケーキ,ホットケーキ」
- 3、チーズケーキ2つ、ホットケーキ1つ: 「チーズケーキ,チーズケーキ,ホットケーキ」

(必ず「,」で分けてください)

*店内 / テイクアウト: テイクアウト

注文する

注文履歴:

抹茶シフォン 750円

チーズケーキ 700円

ホットケーキ 460円

ホットケーキ 460円

テイクアウト: 消費税は8%です。

合計/4点 2559.6円です。

c. ソースコードの重要箇所の説明

kadai3.html

6 行目から 14 行目では、メニューの内容を表示する。15 行目から 26 行目では、POST メソッドを使って、画面の入力部品を作る。注文したい食べ物と店内・テイクアウトを入力できる。中の 18 行目から 22 行目では、入力のルールを表示する。

kadai3.php

7 行目から 13 行目では、データを扱いやすくするために連想配列を使って、キーに食べ物、要素に値段を入れている。14 行目から 17 行目では、ユーザが入力したデータである。19 行目では、explode() という組込み関数を使って、注文した string を分ける。

また、21 行目から 32 行目では、money() というユーザ定義関数である。お金を計算する関数である。34 行目から 45 行目では、out() というユーザ定義関数である。注文履歴を表示する関数である。

最後 48 行目では、count() という組込み関数を使って、注文した食べ物の数を表示する。